

# 四季折々の詩

麻里布中学校  
令和6年12月24日 No.242  
Tel 22-2234 FAX 22-2235



## <自分に自信をもてる中学生に「自己肯定感・自己有用感」>

校長 藤川 義道

「冬来たりなば 春遠からじ」イギリスの詩人シェリーの詩に、この言葉があるそうです。私が新規採用教員となった時の学校長から教えていただいた言葉でもあります。意味は「つらい時期を耐え抜けば、幸せな時期は必ず訪れる。」という例えです。また、「長い冬を耐えて春を待つ気持ちの表現」としても用いられます。

中学生は、この二学期に体育祭と文化祭の大きな行事を成し遂げました。自分たちが企画し、仲間と練習し、本番の成功に向けてそれぞれの役割で活動していきます。その役割に無駄はありません。リーダーは与えられた任務を理解して全体を動かし、そして全体は組織として構成され、一人ひとりの力が結集することで行事ができあがります。この過程が教育においてはとても大切と考えています。

失敗を経験するから成功の喜びがあり、その失敗が多く、大きければそれだけ成功の喜びも大きいはず。引かれたルールや準備された通りの活動では、喜びを感じるどころか、当たり前時に過ぎいき、感動すらありません。

麻里布中学校の生徒は、自分たちが関わったことが成果となって他者に喜びを与え、人や地域の役に立つことに率先して取り組むことができます。このことが自分の存在価値を自覚し、自己肯定感や有用感に繋がると私は信じています。当然、仲間の協力や手助けによって自分の責任が果たせたことへの感謝も忘れてはいません。

多様性が尊重される中で、一人ひとりの個性が磨かれ生かされるのは、集団によって行われるということを生徒は知っています。

学校教育において辛さや厳しさ、我慢を体験する場面に、教職員と保護者、地域のみなさんが生徒に寄り添い、温かい心で支援することが生徒の心に春を呼び寄せると考えています。

今後とも中学生の成長に、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年もお世話になりました。御自愛いただき、健やかに新年を迎えられますようお祈り申し上げます。

## <花壇の苗植え(冬期)>

12月3日、6名の地域ボランティアの方々と多くの生徒ボランティアにより、冬期の花壇の苗植えが行われました。花の植え替えは夏期(7月上旬)と冬期(12月上旬)の年2回、環境委員を中心に毎回100名以上の生徒ボランティアが参加しています。

今年度の夏花壇は、正門前の花壇の花が見事に咲き誇り、岩国市花いっぱいコンクールにおいて、昨年の市議会議長賞に続き教育長賞を受賞することができました。それも、美術部による花壇のデザインや環境委員の呼びかけによる苗植えボランティアの募集、環境委員による毎日の水遣り、部活動ごとの夏休み期間中の水遣りなど、生徒が中心となって活動していることが高く評価されたものと思います。

花壇の花を見ることで美しいものを美しいと感じる心が育ち、生徒たちだけでなく地域の方々の心が「ほっ」とする瞬間が生まれることを望んでいます。



## <体育祭を終えて>

### 【 体育祭実行委員長 】

僕は体育祭実行委員長として、「世界一の体育祭」という目標を掲げ、仲間と一緒に練習に本気で取り組みました。体育祭での一番の思い出は、全校生徒でおこなった「シミズシャキシャキ」と「クボタドスコイ」です。体育祭週間の中で、回を重ねるごとに、全校生徒が、麻里布中が、ひとつになっていくのを感じました。最後まで「笑顔」で頑張れたのも、みんなが「笑顔」でこたえてくれたおかげです。本当にありがとうございました。来年も、再来年もこれからもずっと、麻里布中らしい最高の体育祭が続くことを願っています。最後に、保護者の皆様、地域の皆様、あたたかいご声援ありがとうございました。

### 【 白隊団長 】

僕たちは今年、「世界一」をめざして、とても強い気持ちをもって練習や体育祭本番に臨みました。練習が始まった頃は、1年生が初めての体育祭ということもあって、2・3年生の本気度に負けていました。しかし、日に日に、本気で取り組む先輩たちの姿を見て、1年生全員の意識が変わっていき、隊がひとつになりました。僕が言ったことに素直に協力してくれる団員の仲間や、サポートしてくれる応援団、アドバイスをくださる先生方のおかげで、応援優勝をすることができました。この世界一の体育祭をつくることができたのは、一人ひとりの支えがあったからです。最高の体育祭、思い出をありがとうございました。

### 【 赤隊団長 】

今年の体育祭は、「世界一の体育祭にする」という目標に向かって頑張ってきました。また、赤隊は「W優勝」という大きな目標を立てました。みんなが力を出し切った結果、総合優勝をつかみ取ることができました。残念ながら応援優勝はできませんでしたが、精一杯みんなで創り上げた赤隊の応援は、私の中では“優勝”です。夏休みから共に活動した応援団、そして赤隊のみんな、先生方、観に来てくださった保護者の皆様、地域の皆様、心から感謝しています。本当にありがとうございました。

### 【 青隊団長 】

僕は体育祭を通してたくさんのことを学びました。短い期間で最高の応援を創り上げる難しさ、仲間と協力して最後までやり抜く楽しさなど、様々な経験をさせていただきました。練習では上手くいかないこともあり、くじけそうになることもありましたが、青隊のみんなが、全力で僕たちの思いにこたえてくれたからこそ頑張ることができましたし、悔いのない最高の応援にすることができたと思います。また、こうして僕たちが「世界一の体育祭」を創り上げることができたのは、先生方や、保護者、地域の方のおかげです。本当にありがとうございました。

## <文化祭を終えて>

今年の文化祭は「MoLink Up ～無限の彼方へ さあ行くぞ!～」のテーマのもと、合唱練習や学年展示作品などの準備を進め、文化祭への意識を高めていきました。準備を進める中で、生徒同士がお互いに話し合いながらよりよい合唱にしていこうとする姿や、展示作品を熱心に制作する姿など、多くの場面で生徒の成長が見られました。当日は、生徒会による劇や合唱コンクール、委員会企画、吹奏楽部コンサート、全校合唱など、一生懸命に準備してきた成果がみられ大変盛り上がりしました。昼食休憩時には、各委員会や部活動による企画が行われました。また、部活動や学年で制作した作品も展示され、多くの方に鑑賞していただきました。悪天候ではありましたが、多くの保護者の方々に御来校いただき、ステージ発表や展示作品を鑑賞していただきました。ありがとうございました。文化祭の経験をもとに、これから麻里布中学校の生徒一人ひとりが互いに協力しながら、生徒同士の Link（つながり）を大切に、自分の個性を生かした最高の学校生活を送ってほしいと思います。

### <合唱コンクールを終えて>

11月2日(土)、文化祭の午前中のプログラムで、合唱コンクールが行われました。

6月から準備、練習を始め、体育祭後から意識が高まり、2週間前から一層熱が入ります。そして本番は、各クラス10分にも満たないステージですが、そこには、それまでにかけた時間が凝縮された濃い時間が流れ、皆の思いが一つになった歌声が響きます。

特に3年生の歌声は、厚みのある響きで、聴いている者の心に刺さりました。歌声だけでなく、ステージから醸し出されるクラスの一体感は、合唱に真摯に向き合ってきた熱意が感じられ、審査をしてくださった、高森小学校の坂本総一校長先生も絶賛してくださいました。

合唱コンクールを通して、それぞれの生徒、クラスにドラマがあり、結果は様々ですが、あの歌声が、2年生は立志式での学年合唱、そして3年生は卒業合唱につながり、一生の思い出になっていくことでしょう。

文化祭が終わった今も、変わらず、いや以前よりものびのびと歌っているクラスがあります。仲間を信じ合っている爽やかな歌声に喜びを感じています。



### <職場体験学習(2年生)を終えて>

10月16日、17日に職場体験学習が行われました。職場について事前に調べ学習をし、職場への行き方を考えたり、挨拶の練習をしたりしました。また、山口県立岩国商業高等学校の生徒に来ていただき、「ビジネスマナー講座」として接遇についていろいろと教えていただきました。職場体験前には、緊張どころか「楽しみ」と多くの生徒が言っていましたが、2日間の体験中は、楽しみながらもやはり緊張感をもって活動することができたようです。いくつかの職場の方には「元気な挨拶」や「自主的に動く」といった点を課題として挙げていただきましたが、真面目さや態度についてはお褒めの言葉を多くいただくことができました。わずか2日間ではありましたが、この職場体験学習が生徒たちにとって今後を考える良い機会となっていれば幸いです。

### <全国学力・学習状況調査の結果及び学力向上について>

4月18日(木)に実施した全国学力・学習状況調査(中3)および山口県確認問題(中1・2)の結果が、7月29日に公表されました。

本校の全国学力・学習状況調査の結果は、全国の正答率を下回る結果となりました。

| 正答率% | 国語   | 数学   |
|------|------|------|
| 本校   | 57.0 | 47.0 |
| 山口県  | 58.0 | 52.0 |
| 全国   | 58.1 | 52.5 |

国語では、表現の効果を考え、描写を工夫して書く項目が全国の正答率より上回っており、昨年度から取り組んできた、他者との交流の中で表現を吟味する活動の成果が出ていると考えられます。

数学では、グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈する項目が全国の正答率より上回っていました。一方で、事象における問題解決の方法を数学的に説明することに課題があり、今後もICT機器を活用するなどして、表現したものを効率的に互いが共有できるように授業をすすめていきたいと考えています。

そのほかの本校の取り組みとして、月に1回「うち読」の日を設定し読書活動を推進したり、家庭学習の充実を図るために各教科で課題克服に向けた宿題を定期的に出したりしていきます。日々の自主学習ノートや200字帳、週末課題など、各学年、各教科で宿題を出していますので、御家庭でも話題にされてください。

### < 部活動について >

部活動の地域移行が進む中、本校では、今年度も3年生を中心に熱心に活動してきました。

運動部では放課後になると、目標に向かって一生懸命汗を流しながら練習する姿が見られます。山口県中学校選手権大会に出場した部もあれば、残念ながら出場を逃した部もありますが、仲間と協力して取り組み、素晴らしい経験を得ることができたと思います。

また、文化部も体育祭や文化祭などの学校行事をはじめ、コンクールや作品展など多くの場面で素晴らしい活躍が見られました。

限られた時間を大切に、どの部活動も充実した時間を過ごすことができていると思います。2学期には、2年生がバトンを託され、新たな目標に向かって活動をしています。

今後とも御声援をよろしくお願い致します。

### < 白蛇神社絵馬の奉納について >

令和5年10月に白蛇神社から依頼があり、前任の美術部顧問である藤井教諭とともにデザインを考えました。2年生のデザインを基に、夏休みから2年生4名で制作をはじめました。白蛇神社からいただいた1.8メートルの絵馬にアクリル絵の具で彩色していきしました。メインの蛇も鱗を立体的になるよう細かく彩色しました。松竹梅や、マスキングテープやグラデーションの技法を駆使した吉祥模様や五色を取り入れた「開運」に合うデザインとなっています。岩国らしく錦帯橋を描き、地域への感謝が伝わるよう作成しました。



12月9日に白蛇神社に奉納し、令和7年1月1日から1月3日まで、参拝者が見られるよう境内に飾られる予定です。なお、1月4日からは社殿内に飾られる予定です。

### < チャレンジ学習会について >

12月・1月の毎週火曜日の放課後、3年生を対象としたチャレンジ学習会を実施しています。これは、3年生の高校入試合格をめざした学習会であり、学校運営協議会が主催する事業です。

今年度は10名の生徒が参加しており、地域の方の御支援のもと、数学または英語の学習を進めています。

生徒は、自身の課題となる教科を選択して学習に取り組み、わからないところを積極的に質問し、学力の向上に努めています。

この努力が実を結ぶことを願っています。



### < 3学期の主な予定 >

#### < 1月 >

- 8日(水) 始業式
- 9日(木) 達成度テスト(3年)  
冬休み明けテスト(1年)
- 30日(木) 習熟度テスト(2年)

#### < 2月 >

- 5日(水) 公立高校推薦入試
- 14日(木) 立志式(2年)  
学年末テスト発表(1・2年)
- 21日(金) 学年末テスト①
- 25日(火) 学年末テスト②
- 26日(水) 学年末テスト③

#### < 3月 >

- 5日(水) 公立高校学力検査
- 7日(金) 卒業式
- 19日(水) 個別懇談会(1・2年希望者)
- 24日(月) 修了式
- 28日(金) 離任式